

## 令和 8 年度日本魚病学会春季大会のご案内

### 会場ならびに日程

#### 大会会場

東京海洋大学品川キャンパス白鷹館 1 階 〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7

(<https://www.kaiyodai.ac.jp/overview/access/>)

#### 大会日程

令和 8 年 3 月 7 日 (土) ～3 月 8 日 (日)

月 日	時 間	行 事	場 所
3 月 7 日 (土)	8:00～	受付	白鷹館 1 階ホール
	8:45～12:00	口頭発表	白鷹館講義室
	12:00～13:00	令和 8 年度第 1 回幹事会	楽水会館大会議室
	13:00～14:15	口頭発表	白鷹館講義室
	14:15～15:00	情報交換会	白鷹館講義室
	15:00～17:00	ポスター発表	白鷹館 1 階ホール
	16:00～17:00	令和 8 年度第 1 回評議員会	楽水会館大会議室
	17:00～18:00	令和 8 年度第 1 回編集委員会	楽水会館大会議室
	18:30～20:30	懇親会	大学会館食堂ホール
3 月 8 日 (日)	8:00～	受付	白鷹館 1 階ホール
	8:30～12:00	口頭発表	白鷹館講義室
	13:00～13:30	令和 8 年度日本魚病学会総会	白鷹館講義室
	13:30～15:00	令和 8 年度日本魚病学会賞受賞者講演	白鷹館講義室

#### 会場への交通案内

東京海洋大学ホームページ (<https://www.kaiyodai.ac.jp/overview/access/>) をご覧ください。

なお、発表会場の白鷹館は正門を入れて、40 m 前方左手にあります。

- 1) JR 線・京浜急行線 品川駅港南口 (東口) から徒歩約 10 分
- 2) 東京モノレール天王洲アイル駅から「ふれあい橋」を渡り、正門まで徒歩約 15 分
- 3) りんかい線天王洲アイル駅から「ふれあい橋」を渡り、正門まで徒歩約 20 分

**令和 8 年度日本魚病学会各賞受賞者講演**

**3 月 8 日(日)13:30～15:00**

**(白鷹館講義室)**

**日本魚病学会賞**

吉田照豊氏 (宮崎大学)

「海産魚類のレンサ球菌感染症に関する研究」

**日本魚病学会研究奨励賞**

永井崇裕氏 (広島県立総合技術研究所水産海洋技術センター)

「アユの細菌性冷水病の特性と防御技術に関する研究」

**日本魚病学会研究奨励賞**

加藤豪司氏 (東京海洋大学)

「ノカルジア症および非結核性抗酸菌症の発病機序の解明と予防法の開発」

**情報交換会**

**「新しいワクチンの実用化に向けた情報交換会」**

**3 月 7 日(土)14:15～15:00**

**(白鷹館講義室)**

14:15～14:30	世界の水産分野での現状 ・・・・・・・・・・村上大雅 (共立製薬株式会社)
14:30～14:45	日本の畜産分野での現状 ・・・・・・・・・・河島奈悠 (日生研株式会社)
14:45～15:00	生ワクチンに関するアンケート結果 ・・・・・・・・・・佐野元彦 (大会事務局)

## 口頭発表

3月7日(土)8:45~12:00

(白鷹館講義室)

### 座長 森本和月(水産機構水技研)

- 8:45 101 ○ブリにおける *Lactococcus formosensis* 感染症のエリスロマイシン投薬開始時期と治療効果  
.....°中川徹優・河東康彦・佐藤 純・松浦雄太・前田知己・  
棚尾 咲・松山知正(水産機構水技研)
- 9:00 102 ○魚類養殖場における erm (B) 保有エリスロマイシン (EM) 耐性腸球菌の検出と魚類のレンサ球菌への耐性伝達-III  
.....°荒木香帆(宮崎大院農工)・岩尾 豊・南 隆之(宮崎水試)・  
西木一生・吉田照豊(宮崎大農)
- 9:15 103 ○ブリ類病原性 *Lactococcus formosensis* 由来水溶性多糖画分の成分分析および抗原性評価  
.....久保田 欣生・西木一生・吉田照豊(宮崎大院農)
- 9:30 104 ○大分県の海面養殖カワハギで発生した *Lactococcus petauri* 感染症  
.....°吉井啓亮(大分水研)・吉野友晃・高野倫一・桐生郁也  
(水産機構水技研)

### 座長 引間順一(宮崎大農)

- 9:45 105 ○アユ病魚における *Edwardsiella ictaluri* の検出感度の比較  
.....°勘坂弘治(富山水研)
- 10:00 106 ○Comparative Whole Genome Analysis of *Edwardsiella anguillarum* Isolated from Red Seabream *Pagrus major* in Japan  
.....°Warisara WEAWSAWANG (海洋大)・Shogo HARAKAWA  
(愛媛水研セ)・Kayo KONISHI・Keichiro KOIWAI・  
Ikuo HIRONO・Hidehiro KONDO (海洋大)

- 10:15 107 ○Genetic Characterization of *Vagococcus salmoninarum* Isolated from the  
*Lagenorhynchus obliquiden*  
.....°Ju-sung Kim・HyeongJin Roh・Gyoungsik Kang・Kyung-Ho Kim  
(GNU, Public of Korea)・Kyunglee Lee・Chan-il Park (NIFS,  
Public of Korea)

**座長 笠井久会(北大院水)**

- 10:30 108 ○Viability qPCR-based Red Sea Bream Iridovirus (RSIV) Dynamics and Vaccine  
Effectiveness in Rock Bream (*Oplegnathus fasciatus*) under Aquaculture Site  
.....°Sung-Bin Moon・Chan-Il Park・Gyoungsik Kang・HyeongJin Roh・  
Kyung-Ho Kim (GNU, Public of Korea)

- 10:45 109 魚類培養細胞におけるマダイイリドウイルスの感染動態  
.....°河東康彦・棚尾 咲(水産機構水技研)

- 11:00 110 ○塩基配列の相同性を指標とした養鱒場間における伝染性造血器壊死症  
ウイルス (IHNV) の伝播要因の推定  
.....°井上 孝太郎・田宮春紀・片野珠生(日大生資)・平塚 匡  
(山梨水技)・瀧川智人・中村永介・安藤大輝・富山皓介  
(静岡水技)・難波亜紀(日大三島短大)・柴崎康宏・  
間野伸宏(日大生資)

- 11:15 111 ○伝染性造血器壊死症 (IHNV) 感染魚における餌止め時の死亡率低減効果と  
ウイルス動態  
.....°井上 僚(島しょセ)・浅見優斗(奥多摩さかなセ)・佐野元彦  
(海洋大)・加藤豪司(海洋大)

**座長 倉田 修(日獣大)**

- 11:30 112 ○グルタルアルデヒドによるニジマス卵の水カビ病防除条件および安全性  
.....°安藤大輝・高田伸二・富山皓介・飯田益生(静岡水技研)・  
Karn Tippayakraisri・永田 淳・笠井久会(北大院水)

- 11:45 113 Efficacy of Glutaraldehyde against Water Mold Infection in Chum Salmon  
(*Oncorhynchus keta*) Eggs and Subsequent Neutralization by Food Additives  
.....<sup>o</sup>Karn Tipayakraisri • Masautso E. Sakala • Keito Yamaguchi •  
Makoto Ameno • Naoki Takatani • Fumiaki Beppu • Jun Nagata •  
Hisae Kasai (北大院水)

### 口頭発表

3月7日(土)13:00~14:15

(白鷹館講義室)

### 座長 米加田 徹(岡山理大獣)

- 13:00 114 ○Genome and Pathogenicity Characterization in Penaeid Shrimps of Decapod  
hepanhamaparvovirus 1 (DHPV) Isolated from Thailand  
.....Nicole CERCADO • Reiko NOZAKI • Kayo KONISHI •  
Keiichiro KOIWAI • Hidehiro KONDO • Ikuo HIRONO  
(TUMSAT) • Sasiwipa TINWONGGERR • Jumroensri  
THAWONSUWAN (DoF, Thailand)
- 13:15 115 ○定量PCRのクルマエビ養殖場における *Vibrio* 属細菌モニタリングへの応用  
.....<sup>o</sup>堀部 野々香(海洋大) • 尾崎健一(拓水) • 近藤秀裕 •  
廣野育生 • 小祝 敬一郎(海洋大)
- 13:30 116 ○急性肝臓壊死症原因株 *Vibrio parahaemolyticus* の走化性関連遺伝子欠損株  
作出および走化性アッセイ  
.....<sup>o</sup>奥秋杏菜 • Denise Angelina Bermudez(海洋大) • 緋田 安希子  
(広島大) • 小西佳代 • 野崎玲子 • 近藤秀裕 • 廣野育生 •  
小祝 敬一郎(海洋大)

### 座長 加藤豪司(海洋大)

- 13:45 117 ○Effect of Underground Seawater Supersaturation on Histopathological Changes  
and Physiological Responses in Olive Flounder (*Paralichthys olivaceus*)  
.....<sup>o</sup>Woon-Chul Kang • HyeongJin Roh • Kyung-Ho Kim •  
Chan-il Park • Gyoungsik Kang (GNU, Public of Korea)

14:00 118 ○軀幹部の削瘦を呈したニシキゴイの病理学的および微生物学的所見  
.....河野 小太郎・倉田 修・和田新平（日獣大）・角川響子  
（新潟県内水試）

14:15

### 情報交換会

（白鷹館講義室）

15:00

### ポスター発表

（白鷹館 1 階ホール）

## 口頭発表

3月8日(日)8:30~12:00

(白鷹館講義室)

### 座長 松本 萌(海洋大)

- 8:30 201 ○Potential of Silk as a Carrier for Oral Vaccine Delivery in *Scomber japonicus*  
Against *Vibrio anguillarum*  
.....°Akhil Kizhakkumpat (Kyusyu University) ・ Mitsuru Sato ・  
Katsura Kojima ・ Chisato Sakuma (National Agriculture and Food  
Research Organization) ・ Tapas Chakraborty ・ Kohei Ohta ・  
Takahiro Nagasawa ・ Miki Nakao ・ Tomonori Somamoto  
(Kyushu University)
- 8:45 202 ○Evaluation of Interferon-Mediated Induction of Immune-Related Genes by Oral  
Administration of a VHSV G Peptide in Japanese flounder  
.....°Loku Naidelage Lakmali Prasadika Jayasinghe ・ Keiichiro Koiwai ・  
Ikuo Hirono ・ Hidehiro Kondo (TUMSAT)
- 9:00 203 ○高圧巻き戻し処理による RSIV-MCP を標的とした組換えワクチンの  
開発  
.....°澤崎佑太 (愛媛大) ・ 原川翔伍 (愛媛水研セ) ・ 北村真一  
(三重大院生物資源) ・ 寺脇直美 (愛媛大) ・ 山田航大  
(愛媛大) ・ 宮川拓也 (京大) ・ 松山知正  
(水産機構水技研) ・ 松浦雄太 (水産機構水技研) ・ 板野智昭  
(愛媛水研セ) ・ 澤崎達也 (愛媛大) ・ 野澤 彰 (愛媛大)

### 座長 柳田哲矢(山口大共獣)

- 9:15 204 ○カイアシ類寄生虫 *Caligus fugu* の鰭外縁特異性  
.....°張 雋佑 (鹿大院連農) ・ 野村唯斗 ・ 金重里菜 ・ 田角聡志  
(鹿大水)
- 9:30 205 ○不活化抗原 (iAg) の配列解析から推測される 海産白点虫 *Cryptocaryon*  
*irritans* の血清型多様性  
.....°岩附利英 (東大院農) ・ 吉井啓亮 (大分水研) ・ 原川翔伍  
(愛媛水研) ・ 小池博希 ・ 山口 愉生也 (鹿児島水技) ・

木野 紗由莉・高岡博子（沖縄美ら島財団）・野中太緒  
（千葉水総研セ）・谷保文野（福井栽漁セ）・井分達郎  
（三重水研）・竹内久登（愛媛大南水研セ）・今城雅之  
（高知大農海）・本領智記・白樫 正（近大水研）・北村真一  
（三重大院生資）・伊藤直樹・渡邊勇歩（東大院農）

- 9:45 206 ○深層学習を用いた運動性解析による魚類外部寄生虫 *Argulus coregoni* に対する抗寄生虫剤のスクリーニング  
.....°雨野 誠・Masautso E. Sakala・岩田直登・Karn Tipayakraisri  
（北大院水）・三好晃治（道中央水試）・石川孝典・武田維倫  
（栃木水試）・新田理人（水産機構水技研）・永田 淳・  
笠井久会（北大院水）

#### 座長 北村真一（三重大院生資）

- 10:00 207 微胞子虫 *Inodosporus fujiokai* に人為感染させたニジマスに対するフェバンテルおよびアルベンダゾールの経口投与の効果  
.....°菅原和宏・山本充孝（滋賀水試）・石橋海智・木南竜平・  
白樫 正（近大水研）・柳田哲矢（山口大共獣）・米加田 徹・  
横山 博（岡山理大獣）

- 10:15 208 ○海水飼育ニジマスにおける微胞子虫感染  
.....°高田優三・新田理人・黒部智史・桐生郁也・伊東尚史  
（水産機構水技研）

- 10:30 209 水族館において硬骨魚類と軟骨魚類に発生した繊毛虫症の事例について  
.....°伊藤このみ・村田幹人・喜屋武樹・宮側賀美・北谷佳万  
（海遊館）・井澤武史（大阪公立大獣）・柳田哲矢  
（山口大共獣）

#### 座長 今城雅之（高知大）

- 10:45 210 ○*Flavobacterium psychrophilum* の CRISPR アレイに関する研究  
.....°佐々木 望・泉 庄太郎（東海大）

- 11:00 211 ○アユ細菌性冷水病の耐病性責任遺伝子における他の魚病細菌との関連性  
.....°森本恵大・藤村奎斗（海洋大）・永井崇裕（広島総研水海技  
セ）・坂本 崇（海洋大）



- 11:15 212 ○アユ細菌性冷水病における耐病性責任遺伝子のゲノム編集魚を用いた耐病性形質の解析  
.....°藤村奎斗・森本恵太・中本正俊（海洋大）・永井崇裕  
（広島総研水海技セ）・坂本 崇（海洋大）

**座長 杉本智軌(九大院農)**

- 11:30 213 ○組換え GCSF を用いたヒラメ貪食細胞の活性化に関する研究  
.....°小林拓斗（日大生物資源）・Rungnapa Sakulworakan  
（海洋大）・周防 玲（日大生物資源）・小祝 敬一郎・  
廣野育生・近藤秀裕（海洋大）・糸井史朗（日大生物資源）
- 11:45 214 ○GFP トランスジェニックギンブナを用いた抗原特異的 B 細胞の動態解析  
.....°億 大智・上原 怜・武田真治・片倉文彦・森友忠昭  
（日大獣医）

## ポスター発表プログラム

3月7日(土)15:00~17:00

(白鷹館1階ホール)

- 301 海産魚由来 *Lactococcus garvieae* I 型株の血清学的特性と莢膜合成遺伝子群の保有状況  
.....<sup>o</sup>嶋原佳子・松山知正（水産機構水技研）
- 302 ○海水中での *Edwardsiella anguillarum* の存在形態および挙動に関する研究  
.....<sup>o</sup>竹内久登・増原 陸（愛媛大南水研セ）・原川翔伍・川上秀昌  
（愛媛水研セ）・清水園子（愛媛大南水研セ）
- 303 ○近接ビオチン標識酵素 TurboID 法を用いたノカルジア菌の抗原候補タンパク質の探索  
.....<sup>o</sup>梶谷佳吾・森 玲香（愛媛大プロテオサイエンスセンター）・  
松浦雄太・松山知正（水産機構水技研）・澤崎達也  
（愛媛大プロテオサイエンスセンター）
- 304 ○ニシキゴイ養殖池における抗酸菌症の感染源および発症要因の解明  
.....<sup>o</sup>坂本百合（海洋大）・角川響子・小林健一郎・前 雄介・的山央人  
（新潟水試）・松本 萌・佐野元彦・加藤豪司（海洋大）
- 305 アユ卵のミズカビ病に対するグルタルアルデヒド製剤の有効性の検証  
.....<sup>o</sup>石川孝典・竹中剛志・吉田 豊（栃木水試）・永田 淳・笠井久会  
（北大院水）
- 306 アマゴ病魚から分離された *Bacillus* 属細菌の特性解析  
.....<sup>o</sup>高田優三・黒部智史・中川徹優・伊東尚史（水産機構水技研）・  
倉田 修（日獣大）
- 307 ○マダイおよびイシダイ胚由来細胞株の樹立  
.....<sup>o</sup>山下 蓮・一色 正・北村真一（三重大院生資）・川上秀昌  
（愛媛水研セ）・下田 宙（山口大院共獣）・米加田 徹  
（岡山理大獣）・角 将一・松本大輔・野中千秋（ヤクルト）
- 308 サケ科魚ヘルペスウイルス病ウイルス（OMV）が定着した河川由来サクラマス稚魚におけるウイルス感受性の検討  
.....<sup>o</sup>川名守彦（水産機構資源研）
- 309 ○ヘルペスウイルス性造血器壊死症生ワクチン（P7-P8 株）の キングョ及びフナ属 2 種の仔稚魚における病原性  
.....<sup>o</sup>湯口真実（愛知水試）・鈴木裕貴・南 俊伍（埼玉水研）・  
Hiroaki Saito・齊藤 舞・佐野元彦（海洋大）

- 310 ○ヘルペスウイルス性造血器壊死症に対する弱毒生ワクチンおよび昇温処理による  
キンギョの免疫成立発育時期の特定  
.....°岸 小夏・齋藤 舞・Saito Hiroaki（海洋大）・湯口真実（愛知水試）・  
鈴木裕貴・南 俊伍（埼玉水試）・松本 萌・加藤豪司・  
佐野元彦（海洋大）
- 311 ○マダイ由来新規アデノウイルスのゲノム解析および飼育水からの検出  
.....°石橋成豊（岡山理大院獣）・赤瀬友里（まる阿水産）・伊藤敦子・  
岸本謙太（リージョナルフィッシュ）・渡邊 駿太郎・横山 博・  
米加田 徹（岡山理大獣）
- 312 ○ニジマス稚魚における伝染性造血器壊死症ウイルスの持続感染と魚体内動態  
.....°小山想太・山田昌賢（海洋大）・降幡 充・重倉基希・竹花孝太・  
宮澤昌寛（長野水試）・加藤豪司・佐野元彦・松本 萌（海洋大）
- 313 親魚体腔液由来の伝染性造血器壊死症（IHN）ウイルスの特性解明  
.....°木内裕介・野中 碧・Chaw Su Thin・清水遼太（海洋大）・白鳥史晃・  
竹内智洋・竹花孝太・降幡 充（長野水試）・松本 萌・加藤豪司・  
佐野元彦（海洋大）
- 314 Advance Purification Methods for *Kudoa septempunctata* Myxospores by Using Trypsin and  
Fluorescence Activated Cell Sorting  
.....°Ga-Il KIM・Geun-A PARK・Soo Yeon IM・Sang Phil SHIN  
（KNU, Public of Korea）
- 315 線虫に寄生されたグッピーおよび吸虫に寄生されたキンギョの症例  
.....°安本信哉・窪田伊里・近藤昌和（水大校）
- 316 ○カクレマノミの皮膚粘液中に含まれる抗菌因子に関する研究  
.....°松本恵実・小原 啓・柴崎康宏・間野伸宏（日大生資）
- 317 ○培養下における抗原特異的サイトカイン産生を指標としたギンブナ T 細胞と食細胞の相互作用の検討  
.....°武田真治・上原 怜・億 大智・片倉文彦・森友忠昭（日大獣医）
- 318 ○ギンブナの粘膜組織、リンパ組織および末梢血における T 細胞亜集団（CD4-1、  
CD4-2 および CD8 $\alpha$  陽性細胞）の構成  
.....°後藤瑛美・松本 萌・佐野元彦・加藤豪司（海洋大）
- 319 ○性成熟に伴うニジマス鰓上皮抗原取込細胞の存在比率の減少  
.....°沼田純作・グルゲ藍夏タリンディー・松本 萌・佐野元彦・  
加藤豪司（海洋大）

- 320 ○poly I:C に対するサバ科魚類 3 種およびブリの初期応答の比較  
.....°森本和月・梅田剛佑・吉野友晃・高志利宣・横田高士・松本あかね・  
石井慶太・森 広一郎（水産機構水技研）・堀内元貴・石川豪大・  
高田雅記・川上秀昌（愛媛県水試）・高野倫一・松山知正  
（水産機構水技研）
- 321 ○ブリにおける非古典的 MHC クラス I の L 系統遺伝子の同定およびミコバクテリア  
症罹患時の発現  
.....°田中仁悟（海洋大）・山口 愉生也・小池博希（鹿児島水技セ）・  
首藤冴哉（東町漁協）・加藤豪司・佐野元彦・松本 萌（海洋大）
- 322 粘液胞子虫 *Myxobolus spirosulcatus* を特異的に検出するリアルタイム PCR 法の開発  
.....新田理人・°河東康彦・桐生郁也（水産機構水技研）
- 323 菌叢解析により選別したニジマス表皮プロバイオティクスの感染防除効果  
.....°中谷 肇（名古屋大）・荒川友子（Lala Product）・岡崎文美  
（三重大）
- 324 ○養殖スギの  $\alpha$  溶血性レンサ球菌症に対する最適なワクチン投与条件の検討  
.....°松本紗奈（共立製薬）・安里聖貴・玉城正国・前兼久郁（沖縄水海技  
セ）・村上大雅・岡田 洸・秋山元英・福田耕平（共立製薬）・  
喜友名 大佑・大浦一平・仲 盛淳（沖縄栽漁セ）
- 325 ○銅合金製生簀網の防汚・抗菌性能に関する調査  
.....°荒川 孝志朗（宮崎大院農）・澤田梨久（宮崎大農）・中島智優・  
室谷冬香・宮村和良・西山雅人・福田 穰（大分水研）・阿川泰夫・  
白樫 正（近大水研）・河野智哉・引間順一（宮崎大農）
- 326 炭粉末を賦形剤としたエリスロマイシン製剤の EP 飼料投薬における薬物動態と環境  
負荷低減効果の評価  
.....°田中 光・中路貴大・廣澤英里子・来栖可奈・後藤 清（ゴトー養殖）